

「3Dドライ転写」工法によって加飾された自動車用内装パネルが 2017年度グッドデザイン賞を受賞

株式会社東海理化（社長：三浦 憲二 本社：愛知県丹羽郡大口町）が製造する「3Dドライ転写」工法によって加飾した自動車用内装パネルが公益財団法人日本デザイン振興会（JDP）が主催する「2017年度グッドデザイン賞」を受賞しました。この自動車用内装パネルはトヨタ自動車株式会社と協力して意匠開発した製品であり、同社との共同での受賞となります。

本製品に用いられた「3Dドライ転写」工法は、

- ・多層印刷による深みのある味わい深い色彩表現が可能
 - ・伸縮性の高いフィルムに印刷された図柄を直接基材へ転写することによって、立体形状への歪みの少ない図柄表現が可能
 - ・高精度の位置決めを可能にしたことで、部品間にまたがった連続的な表現を実現
- 以上の特長があり、これらの特長によって多数の部品が集合した車室内に、ダイナミックな図柄配置で、一体感のある空間を表現し、自動車内装全体を広範囲にトータルコーディネートすることができます。

また、本賞の受賞にあたり、審査員より「自動車の内装パネルには、コストの低減と質感の向上が高いレベルで求められており、制約の大きい中でのデザインの表現力向上に大きく寄与する技術である」との評価をいただきました。



「3Dドライ転写」工法によって加飾された自動車用内装パネル



[参考：グッドデザイン賞とは]

グッドデザイン賞は、さまざまに展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちの暮らしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」でその対象はデザインのあらゆる領域にわたっています。

以上

◆本件に関するお問い合わせ先 総務部広報室 TEL：0587-95-5211